

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	新産業の森整備事業費										担当課	部課名	都市整備部西北部総合整備事務所			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	006	説明	02	課等の長	荻窪 裕之	電話	6542

1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	新産業の森は、西北部地域総合整備マスタープランにおいて重点プロジェクトに位置づけられており、産業交流を導く新たな産業拠点として、地域住民との協働によるまちづくりにより、豊かな緑につつまれた新たな産業ゾーンの創出を目指す。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等							
事業実施内容	新産業の森北部地区における御所見1093号線の整備について、事業用地取得及び物件移転補償を行った。また、オオタカの繁殖状況等の継続的なモニタリングを行い、生息状況を把握した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 特定非営利活動法人 フィールドエッグ) (委託等内容 : 希少種生息に伴う保護方策の検討) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	24,641 千円	需用費	1 千円	収入印紙代
		役務費	384 千円	不動産鑑定手数料
		委託料	1,598 千円	新産業の森オオタカ調査等業務委託等
		公有財産購入費	4,660 千円	用地取得(直買)
補償補填及び賠償金		17,998 千円	用地取得に伴う物件移転補償	
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	24,641 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (地方債)		20,200 千円		
一般財源	4,441 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	2.90
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.90

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	226,377	415,148	43,905	55,231			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	216,914	422,049	47,130	53,048			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	169,734	393,565	26,335	24,641			
	償還金利子	399	512	495	462			
	人件費合計(①+②+③)	46,781	27,972	20,300	27,945			
	職員数(常勤 非常勤)	4.90 0.00	2.90 0.00	2.10 0.00	2.90 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	44,296	26,393	19,360	26,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	2,485	1,579	940	1,361			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	9,463	-6,901	-3,225	2,183			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	9,463	-6,901	-3,225	2,183			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	538.20	420,619	976.58	425,105	102.70	427,501	128.65	429,317

成果実績	指標名	御所見1093号線道路改良事業 用地取得率	目標	単位	33	単位	100	単位
					%		%	
	実績			単位	32.5	単位	49.2	単位
					%		%	
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	1,350,923.08	1,122,581.30		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	御所見1093号線は，土地区画整理事業区域境に位置しているが，道路の一部区間が未整備となっており，進出企業の土地利用や周辺の交通に支障をきたしていることから，引き続き，協力を得られなかった地権者との合意を得ていく必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	御所見1093号線道路改良事業の推進のため，用地を取得した範囲の改良工事を行うとともに，引き続き，地権者との接触に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新産業の森北部地区における御所見1093号線の整備については，用地取得等を実施し，事業の進捗が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	新産業の森北部地区においては，今後も進出企業の建築工事が予定されていることから，継続してオオタカ保護方針の検討を行い，企業立地を円滑に進める。 御所見1093号線道路改良事業については，進出企業の利便性を考慮し，用地を取得した範囲の整備を進めるとともに，引き続き，関係地権者の動向を注視し，接触に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	西北部地域総合整備マスタープランに関すること	有	無	1	3
2	西北部総合整備調整会議に関すること	無	無	1	
4	協働のまちづくりに関すること	無	無	1	
5	健康の森及び新産業の森オオタカ調査等に関すること	無	無	1	
9	西北部総合整備調整会議「部会」に関すること	無	無	1	3
10	新産業の森オオタカ検討会に関すること	無	無	1	1
18	進出企業との包括協定に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/7
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	御所見地区整備事業費										担当課	部課名	都市整備部西北部総合整備事務所			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	006	説明	03	課等の長	荻窪 裕之	電話	6542

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	西北部地域総合整備マスタープランの実現に向け、地域住民との協働によるまちづくりにより、居住環境の整備を進める。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等					
事業実施内容	地域住民との協働によるまちづくりを推進するため、地元まちづくり組織との情報交換などを行った。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 4,503 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		賃金	1,487 千円	パート賃金
		旅費	155 千円	出張旅費
		需用費	2,132 千円	消耗品費, 燃料費, 施設修繕費等
		役務費	203 千円	電話料, 管理用地維持管理作業
財源内訳	H30年度 支出済額 4,503 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	4,503 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.70
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.70

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	12,708	25,492	44,111	17,270
	(1)現金を伴う支出 (千円)	10,666	21,466	41,443	20,885
	事業費(支出済額-②報酬合計)	4,938	4,104	14,377	4,503
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	5,728	17,362	27,066	16,382
	職員数(常勤 非常勤)	0.60 0.00	1.80 0.00	2.80 0.00	1.70 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	5,424	16,382	25,813	15,584
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	304	980	1,253	798
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,042	4,026	2,668	-3,615
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	2,042	4,026	2,668	-3,615
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	30.21 420,619	59.97 425,105	103.18 427,501	40.23 429,317	

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	まちづくりに伴う課題の検討を行った。今後は西北部地域総合整備マスタープランの各事業の実施に活かしていく。									
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)	-									

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 西北部地域総合整備マスタープランの実現を目指すため, 地域住民との協働によるまちづくりについて, 改めて検討する必要がある。 管理用地の維持管理を適切に行っていく必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 西北部地域総合整備マスタープランの見直しを図る。 管理用地の適切な維持管理作業を行う。 地元まちづくり組織との情報交換を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域住民との協働によるまちづくりを推進するため, 地元まちづくり組織との情報交換などに取り組むことができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	西北部地域総合整備マスタープランの実現を目指すため, 御所見地区を含めた西北部地域において, 地域住民との協働によるまちづくりの推進に取り組む。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	西北部地域総合整備マスタープランに関すること	有	無	1	3
2	西北部総合整備調整会議に関すること	無	無	1	
4	協働のまちづくりに関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/7
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	遠藤葛原線新設事業費										担当課	部課名	都市整備部西北部総合整備事務所			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	006	説明	04	課等の長	荻窪 裕之	電話	6542

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	遠藤葛原線は西北部地域の南北軸として計画された延長約3kmの道路で、県道藤沢座間厚木線から約0.7kmの区間について事業着手している路線である。						
対象	1. 個人	市民			429,317	人	
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	事業着手した区間の用地取得に向け、権利者と交渉を進めた。また、過年度に取得済みの事業用地の維持管理を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 有限会社慶緑産業) (委託等内容 : 草刈業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,878 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		需用費	346 千円	立入防止柵の修繕											
		役員費	69 千円	事業用地整地作業											
財源内訳	H30年度 支出済額 1,878 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>1.40</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.40</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	1.40	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	1.40
			平成30年度												
		正規職員等	1.40												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	1.40												
費目	支出済額 (千円)														
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 ()															
一般財源	1,878 千円														

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	119,949	40,058	9,825	17,451			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	116,327	40,450	12,099	16,354			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	99,109	23,915	1,362	1,878			
	償還金利息	988	1,102	1,070	985			
	人件費合計(①+②+③)	16,230	15,433	9,667	13,491			
	職員数(常勤 非常勤)	1.70 0.00	1.60 0.00	1.00 0.00	1.40 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	15,368	14,562	9,219	12,834			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	862	871	448	657			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,622	-392	-2,274	1,097			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,622	-392	-2,274	1,097			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	285.17	420,619	94.23	425,105	22.98	427,501	40.65	429,317

成果実績	指標名	用地取得面積	目標	7,744.06	単位	9,443.99	単位	9,443.99	単位	9,443.99	単位
					m ²		m ²		m ²		m ²
	実績	7,744.06	単位	7,744.06	単位	7,744.06	単位	7,744.06	単位	7,744.06	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		15,489.16	5,172.74	1,268.71	2,253.47					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	事業着手している区間については, 全体の約82%の用地取得が完了しているが, 工事の実施に向けて, 交渉を継続し, 残りの事業用地取得に努める必要がある。また, 大雨の際に浸水が生じる地域であることから, 道路整備に併せた浸水対策の検討が必要となる。
(2)	(1)解決のための今後の取組	早期開通に向け, 用地取得率100%を目指し権利者と交渉を継続する。また, 道路整備に併せて実施可能な浸水対策の検討を進める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	事業着手している県道藤沢座間厚木線から約0.7kmの区間については, 残りの約18%にあたる事業用地の取得に向けて, 継続した交渉が進められた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	遠藤葛原線は, 新たな産業ゾーンの創出を目指す「新産業の森地区」の都市基盤として必要性が高いことから, 地域の課題を考慮しつつ, 引き続き, 早期完成を目指し事業を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	西北部地域総合整備マスタープランに関する事	有	無	1	3
2	西北部総合整備調整会議に関する事	無	無	1	
4	協働のまちづくりに関する事	無	無	1	
12	(仮称)遠藤葛原線事業に関する事	有	無	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/7
----	-------	----	-------	-----	----------